



TITLE:

## II.研究所の概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

II.研究所の概要. 霊長類研究所年報 2018, 48: 3-26

ISSUE DATE:

2018-10-19

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/236450>

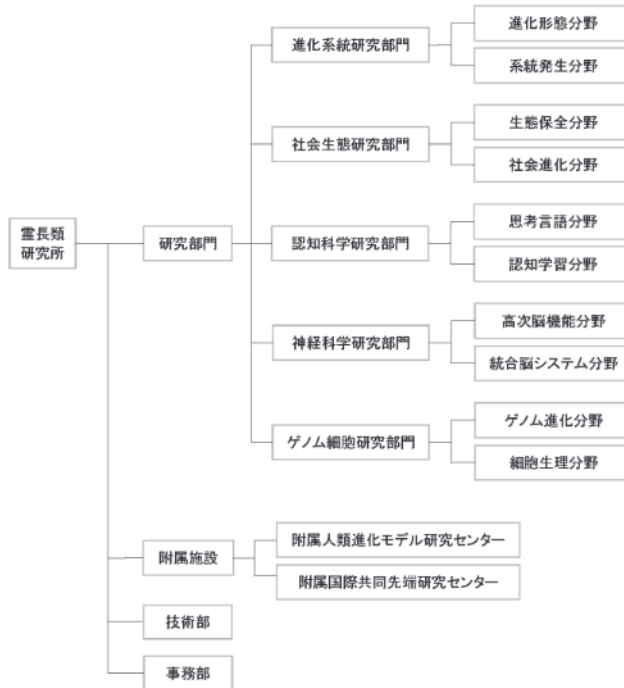
RIGHT:

## Ⅱ. 研究所の概要

### 1. 組織

#### (1) 組織の概要(2018年3月31日現在)

霊長類研究所組織図



所長	湯 本 貴 和	
運営委員	渡 邊 隆 司	(京都大学副理事 (宇治・遠隔地キャンパス担当))
(順不同)	高 田 昌 彦	(京都大学霊長類研究所 教授)
	友 永 雅 己	(京都大学霊長類研究所 教授)
	中 務 真 人	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	中 川 尚 史	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	伊 佐 正	(京都大学大学院医学研究科 教授)
	諏 訪 元	(東京大学総合研究博物館 教授)
	河 村 正 二	(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
	中 道 正 之	(大阪大学大学院人間科学研究科 教授)
	高 畑 由起夫	(関西学院大学総合政策学部 教授)
	鍵 山 直 子	(実験動物中央研究所 理事)
	藤 田 志 歩	(鹿児島大学共同獣医学部 准教授)
	南 部 篤	(生理学研究所 教授)
	五百部 裕	(椋山女学園大学人間関係学部 教授)
事務長	牛 田 俊 夫	

#### 職員の内訳

教授	准教授	助教	特定研究員	事務職員	技術職員	小計	非常勤(時間)	合計
11	13	15	9	9	8	65	95	160

#### 大学院生・研究者等の内訳

博士課程	修士課程	特別研究学生	外国人共同研究者	特別研究員(PD)	合計
23	25	0	2	1	51

## (2) 所員一覧(2018年3月31日現在)

進化形態分野 Fax:0568-61-5775

濱田 穰	教授
平崎 鋭矢	准教授
伊藤 毅	助教
田中 美希子	事務補佐員
若森 参	技術補佐員
谷 和女	研究支援推進員

系統発生分野 Fax:0568-63-0536

高井 正成	教授
西村 剛	准教授
江木 直子	助教
HERBST, Christian Thomas	特定准教授
服部 美里	技術補佐員
坪内 寿美子	技術補佐員
ZIN MAUNG, Maung Thein	特別招へい准教授
INSANI, Halmi	大学院生
浅見 真生	大学院生

生態保全分野 Fax:0568-63-0564

湯本 貴和	教授
半谷 吾郎	准教授
橋本 千絵	助教
西川 真里	研究員
本郷 峻	研究員
毛利 恵子	研究員
栗原 洋介	特別研究員
SARABIAN, Cecile Anna	大学院生
武 真祈子	大学院生
徳重 江美	大学院生
本田 剛章	大学院生
峠 明杜	大学院生
中村 泉	大学院生
LEE, Wanyi	大学院生
HE, Tianmeng	大学院生

社会進化分野 Fax:0568-63-0565

古市 剛史	教授
Huffman, Michael Alan	准教授
辻 大和	助教
RIGAILL, Lucie Marie Louise	特定助教
三浦 久美	事務補佐員
高野 かおり	事務補佐員
NACKONEY, Janet Ruth	特別招へい准教授
横山 拓真	研究生
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	大学院生
豊田 有	大学院生

戸田 和弥	大学院生
石塚 真太郎	大学院生
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	大学院生
NAUTIYAL, Himani	大学院生
岡村 弘樹	大学院生
BROCHE JR., Nelson	大学院生
柴田 翔平	大学院生

思考言語分野 Fax:0568-62-2428

友永 雅己	教授
足立 幾磨	准教授
林 美里	助教
綿貫 宏史朗	特定研究員
打越 万喜子	特定研究員
奥村 由香利	事務補佐員
大藪 陽子	技術補佐員
市野 悦子	教務補佐員
酒井 道子	教務補佐員
荻 博文	教務補佐員
奥村 文彦	教務補佐員
高島 友子	教務補佐員
渡邊 雅史	技能補佐員
金森 朝子	研究員
DA SILVA MENDONCA, Renata Andreia	研究員
平田 加奈子	研究員
村松 明穂	研究員
KOOPMAN, Sarah Elizabeth	外国人特別研究員
山本 知里	特別研究員
WILSON, Duncan Andrew	大学院生
ALLANIC, Morgane	大学院生
PEREIRA COSTA, Raquel Filomena	大学院生
GAO, Jie	大学院生
川口 ゆり	大学院生
瀧山 拓哉	大学院生

認知学習分野 Fax:0568-62-9552

正高 信男	教授
後藤 幸織	准教授
香田 啓貴	助教
石田 恵子	技術補佐員
國枝 匠	技術補佐員
道見 里美	技術補佐員
世良 小百合	技術補佐員
小川 詩乃	教務補佐員
大洞 つかさ	研究支援推進員
水野 名緒子	事務補佐員
澤 幸裕	学外非常勤講師
大野 邦久	大学院生

金子 正弘	大学院生
入口 真夕子	大学院生
黒木 結花	大学院生

高次脳機能分野 Fax:0568-63-0563

中村 克樹	教授
宮地 重弘	准教授
脇田 真清	助教
鴻池 菜保	特定助教
池田 琢朗	特定研究員
竹本 篤史	特定研究員
三輪 美樹	特定研究員
鈴木 冬華	技術補佐員
櫻井 彩華	技術補佐員
藤田 恵子	技術補佐員
正村 聡美	技術補佐員
眞下 久美子	技術補佐員
金 侑璃	大学院生
岩沖 晴彦	大学院生
坂田 良徳	大学院生
櫛原 慧	大学院生

統合脳システム分野 Fax:0568-63-0416

高田 昌彦	教授
大石 高生	准教授
井上 謙一	助教
上園 志織	特定研究員
山中 創	特定研究員
菊田 里美	特定研究員
当房 文香	技術補佐員
後藤 有紀	事務補佐員
梅村 真理子	技術補佐員
中野 真由子	技術補佐員
木村 和宏	技術補佐員
藤原 真紀	研究員
小笠原 宇弥	大学院生
田辺 創思	大学院生
高田 裕生	大学院生
柘植 仁美	大学院生
大塚 友紀子	大学院生
木村 慧	大学院生
UENO - NIGT, Louie Richard	大学院生

ゲノム進化分野 Fax:0568-62-9557

平井 啓久	教授
今井 啓雄	准教授
今村 公紀	助教
安武 香織	事務補佐員
梅村 美穂子	技術補佐員

伯川 美穂	教務補佐員
平井 百合子	技術補佐員
橋戸 南美	研究員
斎藤 治美	研究員
北島 龍之介	大学院生
西 栄美子	大学院生
糸井川 壮大	大学院生
伊藤 達矢	大学院生
黒木 康太	大学院生
河本 悠吾	大学院生
仲井 理沙子	大学院生
岡田 佐和子	大学院生
YAN, Xiaochan	大学院生

細胞生理分野 Fax:0568-62-9554

古賀 章彦	教授
岡本 宗裕	教授
澤村 育栄	事務補佐員
FRIAS VILLARROE, Liesbeth Martina	大学院生

附属人類進化モデル研究センター

Fax:0568-62-9559

大石 高生	センター長・准教授(併)
岡本 宗裕	教授(兼)
明里 宏文	教授
川本 芳	准教授
鈴木 樹理	准教授
田中 洋之	助教
宮部 貴子	助教
関 洋平	特定研究員
鷲崎 彩夏	特定研究員
森本 真弓	技術専門職員
兼子 明久	技術専門職員
前田 典彦	技術専門職員
愛洲 星太郎	技術職員
石上 暁代	技術職員
夏目 尊好	技術職員
橋本 直子	技術職員(育休)
山中 淳史	技術職員
阿部 恵	事務補佐員
小幡 涼子	事務補佐員
勝谷 えり子	技能補佐員
荻野 奈美	技能補佐員
岩田 和子	技能補佐員
西岡 享子	技能補佐員
子川 みどり	技能補佐員
川本 咲江	技能補佐員
赤羽 由美子	技能補佐員

駒田 爽	技能補佐員
坂下 佐貴子	技能補佐員
柴田 有華	技能補佐員
ゴドジャリ 静	技能補佐員
土屋 佳代子	技能補佐員
阿部 政光	教務補佐員
町田 聡子	技能補佐員
佐々木 敬子	技能補佐員
村田 めぐみ	教務補佐員
金宗 潤	教務補佐員
新美 幸	技術補佐員
TAN, Wei Keat	技術補佐員
井上 千聡	技術補佐員
辻 薫	技術補佐員
大堀 美佳	研究支援推進員
葉栗 和枝	研究支援推進員
堀内 ゆかり	研究支援推進員
横江 実穂子	研究支援推進員
井戸 みゆき	研究支援推進員
高瀬 こがみ	研究支援推進員

附属国際共同先端研究センター

湯本 貴和	センター長 (併)
MACINTOSH, Andrew James Jonathan	准教授
服部 裕子	助教
檜垣 早紀	特定職員
時吉 真由美	事務補佐員
MAYER, Xavier Guillaume	技術補佐員
WATSON, Claire Fiona Esther	研究員
DUBOSCQ, Julie Angelina Marie	外国人特別研究員
ROMANO de PAULA Valeria	外国人特別研究員

チンパンジー(林原)研究部門

友永 雅己	教授(兼)
林 美里	助教(兼)
松林 公蔵	寄附研究部門教員
藤澤 道子	寄附研究部門教員

ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)

研究部門 (H31.6.30 まで)

湯本 貴和	教授(兼)
友永 雅己	教授(兼)
林 美里	助教(兼)
早川 卓志	特定助教
中村 美穂	寄附研究部門教員

長期野外研究プロジェクト

坂巻 哲也	研究員
寺田 佐恵子	研究員

竹元 博幸	研究員
-------	-----

NBRP (ニホンザル)

中村 克樹	教授 (兼)
宮本 陽子	特定研究員
佐野 素子	特定職員
安江 美雪	技術補佐員
和泉 津佳沙	技能補佐員
大川 夏菜	技能補佐員
倉知 美沙	技能補佐員
常川 千穂	技能補佐員
常盤 准子	技能補佐員
濱田 一郎	技能補佐員
釜中 慶朗	教務補佐員
脇田 彩未	技能補佐員
普久原 由佳	技能補佐員
熊谷 かつ江	教務補佐員
濱井 美弥	研究員

所長室

湯本 貴和	所長
大井 由里	事務補佐員

事務部 Fax:0568-63-0085

牛田 俊夫	事務長
-------	-----

総務掛

藤井 純子	掛長
新宅 優有	事務職員 (育休)
林 知佳	特定職員 (産休)
大内山 清香	特定職員
石田 直也	事務補佐員
澤田 彰子	事務補佐員
松澤 美津子	事務補佐員
大重 佳美	事務補佐員
城 路子	事務補佐員
今井 真由子	派遣職員
宿泊棟	
馬場 ゆかり	労務補佐員
福富 美幸	労務補佐員

研究助成掛

小柳 吉邦	掛長(兼)
松野 友紀	主任
江川 美雪	事務補佐員
石井 利枝	事務補佐員
図書室	
高井 一恵	主任
松波 陽子	事務補佐員

会計掛

小柳 吉邦	掛長
林 優作	主任
木邨 有純	事務補佐員
高橋 麻美	事務補佐員
多目的ホール	
日比野 恵美子	労務補佐員
松本 公恵	労務補佐員
宮地 理恵子	労務補佐員
矢野 奈生	労務補佐員

情報検索室

福富 憲司	
-------	--

(3) 大学院生

2017 年度 生物科学専攻(霊長類学・野生動物系)

氏名	学年	指導教員
大野 邦久	D3	正高 信男 脇田 真清
金子 正弘	D3	正高 信男 脇田 真清
金 侑璃	D3	中村 克樹 江木 直子
SARABIAN, Cecile Anna	D3	A.J.J.MACINTOSH 湯本 貴和 足立 幾磨
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	D3	M.A.Huffman 足立 幾磨
豊田 有	D3	古市 剛史 橋本 千絵 香田 啓貴
WILSON, Duncan Andrew	D3	友永 雅己 A.J.J.MACINTOSH
ALLANIC, Morgane	D3	友永 雅己 古市 剛史 林 美里
小笠原 宇弥	D3	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
北島 龍之介	D3	平井 啓久 大石 高生
西 栄美子	D3	今井 啓雄 高田 昌彦
FRIAS VILLARROEL, Liesbeth Martina	D3	岡本 宗裕 A.J.J.MACINTOSH
INSANI, Halmi	D2	高井 正成 A.J.J.MACINTOSH
戸田 和弥	D2	古市 剛史 川本 芳
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	D2	M.A.Huffman 川本 芳

NAUTIYAL, Himani	D2	M.A.Huffman 田中 洋之
入口 真夕子	D2	正高 信男 脇田 真清
武 真祈子	D1	湯本 貴和 江木 直子
本田 剛章	D1	半谷 吾郎 古賀 章彦
石塚 真太郎	D1	古市 剛史 川本 芳
PEREIRA COSTA, Raquel Filomena	D1	友永 雅己 M.A.Huffman 林 美里
GAO, Jie	D1	友永 雅己 M.A.Huffman
岩沖 晴彦	D1	中村 克樹 今村 公紀
田辺 創思	D1	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
浅見 真生	M2	高井 正成 半谷 吾郎
徳重 江美	M2	古市 剛史 橋本 千絵 岡本 宗裕
峠 明杜	M2	湯本 貴和 岡本 宗裕 橋本 千絵
中村 泉	M2	半谷 吾郎 平井 啓久
岡村 弘樹	M2	古市 剛史 田中 洋之 橋本 千絵
BROCHE JR., Nelson	M2	M.A.Huffman 大石 高生
川口 ゆり	M2	友永 雅己 香田 啓貴
黒木 結花	M2	正高 信男 脇田 真清
坂田 良徳	M2	中村 克樹 辻 大和
櫛原 慧	M2	中村 克樹 湯本 貴和
高田 裕生	M2	高田 昌彦 宮地 重弘
柘植 仁美	M2	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一
糸井川 壮大	M2	今井 啓雄 川本 芳
河本 悠吾	M2	今井 啓雄 辻 大和

伊藤 達矢	M2	平井 啓久 辻 大和 今村 公紀
黒木 康太	M2	平井 啓久 半谷 吾郎 今村 公紀
LEE, Wanyi	M1	半谷 吾郎 友永 雅己
HE, Tianmeng	M1	半谷 吾郎 友永 雅己
柴田 翔平	M1	古市 剛史 宮部 貴子 橋本 千絵
瀧山 拓哉	M1	友永 雅己 服部 裕子 A.J.J.MACINTOSH
大塚 友紀子	M1	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一
木村 慧	M1	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一
UENO - NIGT , Louie Richard	M1	高田 昌彦 中村 克樹 大石 高生
仲井 理沙子	M1	今井 哲雄 大石 高生 今村 公紀
岡田 佐和子	M1	今井 哲雄 大石 高生 今村 公紀
YAN, Xiaochan	M1	今井 哲雄 M.A.Huffman

#### (4) 研究支援推進員

氏名	採用期間
横江 実穂子	2017年4月1日～2018年3月31日
葉栗 和枝	2017年4月1日～2018年3月31日
堀内 ゆかり	2017年4月1日～2018年3月31日
井戸 みゆき	2017年4月1日～2018年3月31日
塩澤 裕子	2017年4月1日～2017年11月11日
大洞 つかさ	2017年7月1日～2018年3月31日
大堀 美佳	2017年4月1日～2018年3月31日
高瀬 こがみ	2017年4月1日～2018年3月31日
谷 和女	2017年4月1日～2018年3月31日

## 2. 予算概況

### 予算概要

(金額の単位はすべて千円)

運営費交付金	人件費	537,544
	物件費	198,535
	物件費(機能強化経費)	128,413
	計	864,492
外部資金	受託研究費 (9 件)	223,337
	受託事業費 (4 件)	24,312
	共同研究費 (3 件)	14,432
	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 (80 件)	265,973
	医療研究開発推進事業費 (2 件)	93,872
	科学技術人材育成費補助金 (1 件)	5,000
	寄附金 (20 件)	72,776
	間接経費、一般管理費等	53,678
	計	753,380
合 計		1,617,872

### (1) 2017 年度（平成 29 年度）受託研究費 内訳一覧

研究種別・委託者等	研究代表者	金額	研究課題
株式会社公文教育研究会	中村 克樹	732,057	読書及び学習の過程における幼児・児童の視線変化についての調査研究
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト (AMED)	中村 克樹	147,917,694	革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明 (マーモセットの高次脳機能マップの作成とその基盤となる神経回路の解明及び参画研究者に対する支援)
脳科学研究戦略推進プログラム (AMED)	高田 昌彦	13,364,616	中枢神経回路の再編成を制御する BMI 技術と生物学的手法の構築 (マカクザルを用いた脊髄損傷後の中枢への物理的刺激による可塑性制御機構の解明)
戦略的創造研究推進事業・さきがけ (JST)	井上 謙一	12,000,000	光操作による神経ネットワークの高解像度 5D 解析法の確立を目指した基盤技術開発
感染症実用化研究事業 エイズ対策実用化研究事業 (AMED)	明里 宏文	36,153,847	HIV 感染症の根治療法創出のための基礎・応用研究
感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 (AMED)	明里 宏文	2,307,693	臨床応用を目指した抗 HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによる HTLV-1 感染予防法の開発と安全性に関する研究 (抗 HTLV-1 ヒト免疫グロブリンの有効性・安全性を検証する霊長類モデルの開発)
感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 (AMED)	明里 宏文	8,461,539	効果的な新規 B 型肝炎ウイルスワクチンの開発を目指した基礎的研究 (霊長類モデルを用いた新規 HBV ワクチンの評価)
平成 29 年度新分野創成センターブレインサイエンス研究分野プロジェクト (NINS)	井上 謙一	1,400,000	ウイルスベクターを利用した全脳的遺伝子導入技術の開発
戦略的創造研究推進事業 チーム型研究 (CREST) (JST)	高田 昌彦	1,000,000	光の特性を活用した生命機能の時空間制御技術の開発と応用 (光操作技術による基底核ドーパミン回路の機能局在解明と機能再建) マカクザルドーパミンシグナルを介入操作する光遺伝学技術の開発
合 計	9 件	223,337,446	

※金額は間接経費を除く



(2) 2017 年度（平成 29 年度）受託事業費 内訳一覧

研究種別・委託者等	研究代表者	金額	研究課題
研究拠点形成事業－A. 先端拠点形成型－（日本学術振興会）	松沢 哲郎	15,000,000	心の起源を探索比較認知科学研究の国際連携拠点形成
研究拠点形成事業－B. アジア・アフリカ学術基盤形成型－（日本学術振興会）	古市 剛史	7,200,000	類人猿地域個体群の遺伝学・感染症学的絶滅リスクの評価に関する研究
二国間交流事業 オープンパートナーシップ共同研究（日本学術振興会）	今井 啓雄	672,000	多様なインドネシア産霊長類の分子生態研究
二国間交流事業 オープンパートナーシップセミナー（日本学術振興会）	半谷 吾郎	1,440,000	マカク属霊長類の社会構造と安定性についての比較研究
	4 件	24,312,000	

※金額は業務委託手数料および間接経費を除く

(3) 2017 年度（平成 29 年度）共同研究費 内訳一覧

研究種別・委託者等	研究代表者	金額	研究課題
共同研究（大日本住友製薬株式会社）	中村 克樹	2,000,000	霊長類を対象とした動作理解の比較研究
共同研究（田辺三菱製薬株式会社）	高田 昌彦	10,432,000	中枢神経障害後の機能再建を促進する画期的抗体治療法の開発
共同研究（日本クレア株式会社）	中村 克樹	2,000,000	コモンマーモセットの新たな飼料開発
	3 件	14,432,000	

※金額は産官学連携推進経費を除く

(4) 2017 年度（平成 29 年度）文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 内訳一覧

研究種目	研究代表者	金額	研究課題
新学術領域研究	高田 昌彦	4,100,000	パーキンソン病サルモデルの多領域多点同時記録による集団発振現象および同期化の探索
新学術領域研究	今井 啓雄	3,400,000	ターゲット遺伝子法によるグリアネットモデルサルの同定と繁殖の試み
新学術領域研究	服部 裕子	431,450	共感性を高めるコミュニケーションシステムの進化に関する比較認知科学研究
新学術領域研究	井上 謙一	2,700,000	神経回路の選択的可視化と操作を実現するウイルスベクターシステムの開発
新学術領域研究	高田 昌彦	7,200,000	サル脊髄損傷モデルにおける大脳運動関連領域の可塑性の神経メカニズムの解明
新学術領域研究	井上 謙一	4,200,000	行動選択の回路モデル構築のための前頭前野－大脳基底核・小脳連関の構築様式の解明
新学術領域研究	中村 克樹	3,300,000	霊長類のやる気におけるドーパミン受容体系の役割の解明
新学術領域研究・分担	井上 謙一	5,000,000	動物モデルへの双方向性計測操作による発振現象の理解
新学術領域研究・分担	高田 昌彦	3,240,000	先端モデル動物支援プラットフォーム
新学術領域研究・分担	高田 昌彦	150,000	生命科学連携推進協議会
新学術領域研究・分担	香田 啓貴	6,355,000	言語の下位機能の生物学的実現
特別推進研究	松沢 哲郎	80,000,000	言語と利他性の霊長類の基盤
基盤研究（S）	友永 雅己	29,900,000	野生の認知科学：こころの進化とその多様性の解明のための比較認知科学的アプローチ

基盤研究（A）	古市 剛史	5,700,000	ヒト科の集団と地域社会の役割の再考：Pan 属の集団間関係とメスの移籍の分析から
基盤研究（A）	高田 昌彦	10,900,000	先端的神経ネットワーク解析による霊長類大脳眼球運動制御システムの構造と機能の解明
基盤研究（A）	湯本 貴和	9,300,000	人為攪乱影響下におけるアフリカ大型類人猿の生態学的研究
基盤研究（A）・分担	足立 幾磨	500,000	チンパンジーとボノボの道具的知性と社会的知性
基盤研究（A）・分担	今井 啓雄	600,000	霊長類感覚多重遺伝子族の大規模集団解析による嗅覚・味覚・色覚の総体的進化像の解明
基盤研究（A）・分担	香田 啓貴	1,200,000	サルと自閉症児を対象とした援助行動の生物学的・進化的要因解明に関する実験的研究
基盤研究（A）・分担	平崎 鋭矢	500,000	初期人類二足歩行運動の生体力学的復元
基盤研究（B）	橋本 千絵	2,300,000	生殖ホルモンの動態と性行動の分析による野生チンパンジーとボノボの繁殖戦略の研究
基盤研究（B）	高井 正成	3,300,000	アジア地域の霊長類相の成立に関する古生物学的研究
基盤研究（B）	岡本 宗裕	3,900,000	ニホンザル血小板減少症の発症・非発症機序の解明とマカク類のリスク評価法の開発
基盤研究（B）	古賀 章彦	2,700,000	ヒトと類人猿のゲノムの大きな違い：組換え頻度に関する仮説のゲノム編集を用いた検証
基盤研究（B）	平崎 鋭矢	2,600,000	ヒトはなぜ二足で歩けるのか？哺乳類モデルから探る二足歩行の戦略とその進化
基盤研究（B）	今井 啓雄	3,700,000	霊長類採食活動多様性の感覚的基盤
基盤研究（B）	濱田 穰	3,000,000	マカクの進化地理学：アジアにおける東西分散と分断の進化史
基盤研究（B）	西村 剛	3,900,000	霊長類の発声メカニズムの多様性とヒト発声の進化プロセスに関する医工生物学融合研究
基盤研究（B）・分担	今井 啓雄	600,000	スラウェシ島固有のマカク属を用いた霊長類の種形成に関する遺伝領域の特定
基盤研究（B）・分担	湯本 貴和	250,000	地域の生物文化多様性を基盤としたレジリエントな観光ガバナンスの研究
基盤研究（B）・分担	岡本 宗裕	600,000	無鉤条虫・アジア条虫感染家畜の迅速検査法の開発と宿主特異性規定因子の探索
基盤研究（B）・分担	岡本 宗裕	800,000	有鉤条虫の撲滅を目指した流行調査と土壌伝播蠕虫の網羅的検出法の開発
基盤研究（B）・分担	明里 宏文	3,500,000	i P S細胞を利用したCD4陽性T細胞の再生医療のための基盤技術の確立
基盤研究（B）・分担	川本 芳	50,000	中央アジアにおけるウシ科、ラクダ科家畜とその近縁種の遺伝資源学的調査研究
基盤研究（B）・分担	半谷 吾郎	630,000	腸内細菌を用いたニホンザル農地依存度の把握と加害レベル判定手法の確立
基盤研究（B）・分担	早川 卓志	510,000	腸内細菌を用いたニホンザル農地依存度の把握と加害レベル判定手法の確立
基盤研究（C）	香田 啓貴	500,000	音声の情動伝染：音声模倣の起源に関する実験的検討
基盤研究（C）	林 美里	800,000	ヒトと大型類人猿における物の操作と母子関係にみる認知発達
基盤研究（C）	江木 直子	1,100,000	始新世－漸新世哺乳動物相交代の実態の解明：アジア産分類群の起源と移住
基盤研究（C）	大石 高生	900,000	自然発症ニホンザル個体を起点にした早老症モデルの確立
基盤研究（C）	宮地 重弘	1,800,000	リズムに「乗る」神経メカニズムの解明
基盤研究（C）	足立 幾磨	1,000,000	感覚間一致への比較認知科学的アプローチ
基盤研究（C）	竹本 篤史	1,300,000	主観的輪郭知覚に伴う神経回路ダイナミクス — 回転運動刺激を用いた検討

基盤研究（C）	今村 公紀	1,100,000	チンパンジーiPS細胞を用いた神経発生の「ヒト化」責任遺伝子の機能的同定
基盤研究（C）	山中 創	800,000	霊長類うつ病モデルを用いた「セロトニン1Bレセプター仮説」の検証
基盤研究（C）	井上 謙一	1,200,000	霊長類遺伝子改変モデルを利用したパーキンソン病の進行・発症機序の解明
基盤研究（C）	竹元 博幸	1,600,000	ヒトの地上性の起源と後期中新世の気候変動
挑戦の萌芽研究	宮部 貴子	700,000	非ヒト霊長類の痛みに関する多面的研究
挑戦の萌芽研究	正高 信男	500,000	社会構造における自閉症スペクトラム
挑戦の萌芽研究	橋本 千絵	1,600,000	野生チンパンジーにおける口腔細菌叢の伝播と食物分配
挑戦の萌芽研究	平崎 鋭矢	1,300,000	言語能力初期進化過程に関する仮説の実験的検証ー真猿類モデルを用いて
挑戦の研究（萌芽）	服部 裕子	166,604	音楽性の起源：類人猿を対象とした比較認知科学的研究
挑戦の研究（萌芽）	西村 剛	2,500,000	ヒト以外の哺乳類における鼻腔の生理学的機能に関するシミュレーションモデルの開発
挑戦の研究（萌芽）	高田 昌彦	2,800,000	新規ウイルスベクターを用いた全脳的遺伝子導入技術による神経疾患モデル霊長類の開発
挑戦の研究（萌芽）	斉藤 治美	2,565,793	嗅覚高次中枢において神経回路機構を形成する分子メカニズムの探索
挑戦の研究（萌芽）	中村 克樹	2,800,000	霊長類での神経賦活マンガン造影MRI法の確立および社会行動神経ネットワークの解明
若手研究（A）	MacIntosh Andrew	3,800,000	Primate and parasite community assemblages as indicators of a transitioning environment
若手研究（B）	辻 大和	1,200,000	DNAバーコーディングによる種同定を利用した、熱帯林の主要な種子散布者評価の試み
若手研究（B）	早川 卓志	1,200,000	霊長類におけるゲノム・メタゲノム相関とその進化的意義の解明
若手研究（B）	西川 真理	1,200,000	薄明視という新たな視点による霊長類の3色型色覚の優位性の検証
若手研究（B）	伊藤 毅	2,700,000	霊長類における交雑の進行過程とその表現型多様化への影響を探索進化生態学的研究
若手研究（B）	橋戸(鈴木) 南美	2,100,000	葉食適応したコロブス亜科の味覚・解毒分子基盤の進化機構の解明
研究活動スタート支援	雨森 賢一	1,100,000	霊長類の側坐核-腹側被蓋野経路の選択的制御による価値判断のメカニズム解明
研究活動スタート支援	菊田 里美	1,100,000	サルモデルを用いた多領域多点同時記録によるパーキンソン病病態への小脳の関与の検討
特別研究員奨励費	CICALISE TAKESHITA RAFAELA SAYURI	1,100,000	ニホンザルとオランウータンにおける内分泌動態に影響を与える要因について
特別研究員奨励費	豊田 有	900,000	ベニガオザルの繁殖システムの解明ーオス間の連合関係と繁殖競合のトレードオフ
特別研究員奨励費	栗原 洋介	1,100,000	屋久島に生息するニホンザルの社会変動を引き起こす生態学的メカニズムの解明
特別研究員奨励費	北島 龍之介	900,000	霊長類における神経幹細胞増殖能の比較解析ーiPS細胞による霊長類脳進化の探求ー
特別研究員奨励費	SARABIAN CECILE ANNA	1,100,000	嫌悪の起源を探索：霊長類における、寄生虫・病原体回避行動の進化
特別研究員奨励費	FRIASVILLARROEL LIESBETH MARTINA	1,000,000	人為的攪乱環境下における宿主ー寄生虫相互関係のダイナミクス
特別研究員奨励費	戸田 和弥	1,000,000	なぜメスが出自集団を離れるのか？ヒトとアフリカ類人猿における父系社会の進化的起源
特別研究員奨励費	山本 知里	1,100,000	ハンドウイルカにおける社会的知性に関する比較認知科学的研究

特別研究員奨励費	石塚 真太郎	1,000,000	Pan 属二種の地域社会構造の解明
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	900,000	マカク類の感染症が宿主の行動に与える影響とそのリスク評価
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	800,000	ニホンザルにおける乳幼児 handling および乳幼児とワカモノの社会関係の形成
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	1,100,000	環境圧力、社会性、健康における関連性の理解
JSPS 外国人特別研究員 (欧米短期)	MacIntosh Andrew, Valeria Romano de PAULA	735,377	病気発生の予測と予防のための霊長類の社会的ネットワークの使用
JSPS 外国人特別研究員 (戦略的プログラム)	MacIntosh Andrew, Kelly Renee FINN	210,000	ニホンザルにおける行動の時間的区間的解析
JSPS 外国人特別研究員 (戦略的プログラム)	友永 雅己 Sarah Elizabeth KOOPMAN	420,000	ヒト以外の霊長類における数概念の形成に関する比較認知科学研究
JSPS 外国人特別研究員 (サマー・プログラム)	後藤 幸織 JONES, Danielle Nicole	158,500	EAPSI: The Role of Monoamine Oxidase-A Gene Polymorphism in Aggressive Behavior in Macaques (ニホンザルグループケージでの社会的行動の観察とその遺伝的基盤の解明)
		80 件	265,972,724

※金額は間接経費を除く

#### (5) 2017 年度（平成 29 年度）医療研究開発推進事業費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP ニホンザル)	中村 克樹	84,072,236	ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・供給 (大型飼育施設でのニホンザルの繁殖・育成事業)
ナショナルバイオリソースプロジェクト (GAIN)	松沢 哲郎	9,800,000	情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進 (大型類人猿情報ネットワークの展開)
		2 件	93,872,236

※直接経費のみ

#### (6) 2017 年度（平成 29 年度）科学技術人材育成費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
スタートアップ研究費	伊藤 毅	5,000,000	科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
		1 件	5,000,000

※直接経費のみ

#### (7) 2017 年度（平成 29 年度）寄附金 内訳一覧

寄附金名称等	研究代表者	金額	寄附の目的
寄附研究部門	湯本 貴和	38,800,000	ワイルドライフサイエンス（名古屋鉄道）研究部門
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 29 年度助成事業 国際会議開催助成	今井 啓雄	1,000,000	国際シンポジウム：ロドプシンの生物物理学 (七田教授退職記念国際シンポジウム)
公益財団法人 日本科学協会 平成 29 年度笹川科学研究助成	早川 卓志	750,000	哺乳類の味覚の進化的起源の解明を目的としたオーストラリア産有袋類・単孔類の味覚受容体の分子生態学研究
公益財団法人 日本科学協会 平成 29 年度笹川科学研究助成	上園 志織	670,000	霊長類の島皮質における感覚情報の統合と分散
平成 29 年度 東京動物園協会 野生生物保全基金	辻 大和	500,000	インドネシアのマレーヒョケザルの保全に向けて：謎に包まれた夜間行動の解明

公益財団法人 日本科学協会 平成 29 年度笹川科学研究助成	本郷 峻	710,000	カメラトラップ調査による野生マンドリルの性的 装飾進化メカニズムの解明
伊藤忠兵衛基金 平成 29 年度 学術研究助成金	辻 大和	500,000	DNA バーコーディングによる種同定を利用した、 熱帯林の主要な種子散布者の評価
(公財) 京都大学教育研究振興 財団 平成 29 年度助成事業 国際会議開催助成 II 期	古賀 章彦	1,000,000	国際シンポジウム「霊長類のゲノムと細胞研究」
(公財) 京都大学教育研究振興 財団 平成 29 年度助成事業 研究活動推進助成	平井 啓久	1,000,000	マカク類の季節性精子形成の機序を探る分子細胞 生物学的研究
(公財) 京都大学教育研究振興 財団 平成 29 年度助成事業 研究活動推進助成	今村 公紀	1,000,000	霊長類の生後発育過程で一過的に認められる生殖 細胞のプログラム細胞死
2017/2018 Franklin Mosher Baldwin Fellowship (LEAKEY 財 団)	Michael HUFFMAN	1,554,813	大学院生 Himani Nautiyal の人類進化に関する教育 研究支援
第 36 回 リバネス研究費 L- RAD 賞	今村 公紀	250,000	アルツハイマー病を引き起こす分子基盤の霊長類 種間比較
(公財) 大幸財団 平成 29 年度 第 27 回自然科学系学術研究助 成	後藤 幸織	3,300,000	霊長類の社会認知機能を介在する前頭前皮質ドー パミンの役割
National Geographic Young Explorers Grants	古市 剛史	553,013	Why do bonobo females disperse from natal groups earlier than female chimpanzees (なぜボノボメスはチンパンジーメスよりも早い 年齢で出自集団を離れるのか?)
第 49 回 (2017 年度) 内藤記念科学奨励金・研究助成	雨森 賢一	3,000,000	霊長類の悲観的な価値判断の固執を引き起こす神 経メカニズムの解明
(公財) アステラス病態代謝研 究会 平成 29 年度 研究助成金	鴻池 菜保	2,000,000	統合失調症霊長類モデルの確立
Tourette Association of America ( RESEARCH GRANTS AND FELLOWSHIPS Full Proposals:2017 Grant Cycle)	高田 昌彦	7,140,739	Multi-Dimensional Analysis of the Limbic Vocal Tic Network and its Modulation via Voltammetry Controlled High-Frequency Deep Brain Stimulation of the Nucleus Accumbens.
(公財) 小林国際奨学財団 第 6 回(平成 29 年度)研究助成	今井 啓雄	3,500,000	苦味受容体に注目した霊長類個体やオルガノイド を用いたアジア産植物由来天然物の生理活性研究
(公財) 上原記念生命科学財団 平成 29 年度 研究助成金	雨森 賢一	5,000,000	不安や悲観的判断に関わる霊長類側坐核経路の機 能解明
	19 件	72,228,565	

※寄附金額は全学経費 (2%) および部局管理経費 (3%) を控除した金額

### 3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関連論文の別刷は 85,000 点に達し、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

#### (1) 蔵書数

2018 年 3 月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

和書：9,892 冊 (製本雑誌も含む)

洋書：18,674 冊 (製本雑誌も含む)

和雑誌・中国雑誌 (紀要類も含む)：893 誌

洋雑誌 (紀要類も含む)：531 誌

霊長類学関連別刷 (霊長類学別刷コレクション)：約 85,000 点

## (2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学蔵書検索 KULINE】で検索できます。

【京都大学蔵書検索 KULINE】にアクセスし、[詳細検索画面] - [所蔵館] の欄で [霊長研] を選択すると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。

霊長類研究所ホームページから【霊長類学文献索引データベース】にアクセスしてください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

## (3) 霊長類研究所図書室利用規程

### I. 開室時間と休室

1. 開室時間：平日 9 時から 17 時まで。
2. 休室：土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始。その他の臨時休室は、その都度掲示する。

### II. 閲覧

1. 閲覧者の資格
  - 1) 本研究所の所員。
  - 2) 本研究所の共同利用研究員。
  - 3) 1)、2)以外の、京都大学に所属する者で、所属部局の図書施設もしくは附属図書館の紹介のある者。
  - 4) その他一般利用者。
2. 閲覧
  - 1) 閲覧は所定の場所で行わなければならない。
  - 2) 次の各号に掲げる場合においては閲覧を制限することができる。
    - (1) 当該資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成 13 年法律第 140 号、以下「情報公開法」という。)第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分。
    - (2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間。
    - (3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合。

### III. 貸出及び返却

1. II の 1 の 1)の該当者及び、2)のうち予め利用者カードを提出した者は、下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。
  - 1) 借用資料の種類と借用方法
    - a. 単行本
      - (i) 単行本は 1 か月間借用できる。
      - (ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。
    - b. 製本雑誌
      - (i) 製本雑誌は 3 日間借用できる。
      - (ii) 借用方法は単行本に準じる。
    - c. 未製本雑誌
      - (i) 未製本の雑誌は 15 時から翌朝 10 時までの間に限り借用できる。
      - (ii) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。
    - d. 別刷
      - (i) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。
      - (ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。

- e. 他機関からの借用資料
    - (i) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
    - (ii) 利用後は図書係員に返却する。
  - 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。
  - 3) 借用中の資料を転貸してはならない。
  - 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。  
ただし、他に借用希望者がある時は、他を優先する。
  - 5) 借用後の図書は返却台に返却する。
2. IIの1の3)の該当者は、所属部局の図書施設もしくは附属図書館を通じて借用を依頼することができる。
- 1) 借用資料は単行本のみで、所属部局図書施設内もしくは附属図書館内での利用に限る。
  - 2) 借用期限は2週間とするが、本研究所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

#### IV. 総点検及び長期貸出

- 1. 定期的に図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。
- 2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。
- 3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

#### V. 個人情報漏えい防止のために必要な措置

- 1. 図書室は、図書室資料に個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む)をいう)が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じるものとする。
  - 1) 書庫の施錠その他の物理的な接触の制限
  - 2) 図書室資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス(不正アクセス行為の禁止等に関する法律(平成11年法律第128号)第3条第2項に規定する不正アクセスをいう)を防止するために必要な措置
  - 3) 図書室の職員に対する教育・研修の実施
  - 4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

#### VI. その他

- 1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については常時図書室に備え付ける。
- 2. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。
- 3. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。
- 4. 図書室内(書庫を含む)は禁煙とする。

##### 附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

##### 附則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

#### 4. サル類飼育頭数・動態

2017 年度（平成 29 年度）末 飼育頭数

種 名	頭 数
コモンマーモセット	133
ワタボウシタマリン	7
ヨザル	11
フサオマキザル	5
ケナガクモザル	1
ニホンザル	384
ニホンザル(NBRP) *	412
アカゲザル	244
タイワンザル	2
ボンネットザル	0
カニクイザル	11
マントヒヒ	2
アジルテナガザル	3
チンパンジー	12
合 計	1227

\* NBRP（「ニホンザル」バイオリソース）プロジェクトで飼育しているもの

2017 年度（平成 29 年度）サル類動態表

区 分 種 名	増 加			減 少（死亡など）												増 減
	出 産	導 入	小 計	安 楽 殺 (実験による)	安 楽 殺 (その他)	事 故 死	外 傷 死	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	感 染 症	泌 尿 器	衰 弱	剖 検 不 能 その他	所 外 供 給	小 計	
コモンマーモセット	37	12	49	6	27		1	1	1			3	8	2	49	0
ニホンザル	49		49	29	3				6		1	2	5		46	3
ニホンザル (NBRP)	76		76	2	4	1		4	2			2	15	29	59	17
アカゲザル	32		32	12			2	3	2				3	14	36	-4
ワタボウシタマリン			0		1										1	-1
マントヒヒ			0					1							1	-1
ボンネットザル			0		1										1	-1
チンパンジー			0										1		1	-1
合 計	194	12	206	49	36	1	3	9	11	0	1	7	32	45	194	12



## 5. 資料

霊長類研究所が所蔵する資試料は、骨格標本、液浸標本、分子生物学用試料、CT 画像、化石模型などからなり、所外の研究者にも公開され、国内外の多くの研究者の研究推進に大きく貢献している。資料委員会では、これらの資試料の充実のために、毎年 400 点以上の新たな各種資試料の受け入れと作製を行っている。また、所蔵資試料の各種データベースを統合を進めて、多様な研究ニーズに応えられる利用環境の整備を行っている。

### (1) 骨格標本(表 1、2)

霊長類の骨格標本は 9,700 点を超える (表 1)。特にニホンザルの標本は所内飼育・野生由来個体を合わせて 4,200 点近くを数え、世界最大規模のコレクションである。霊長類以外にも、約 2,000 点の獣骨標本を所蔵している (表 2)。特に、日本産タヌキやテン、ツキノワグマの標本は豊富で、日本産野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料といえる。標本は、新棟 4 階および本棟地階骨格資料室と栗栖地区の骨格資料室に分散して保管されている。標本の所蔵場所や各種情報は、標本データベース PRISK(霊長類)もしくは PRISK-Z(霊長類以外)で検索することができる。

### (2) 液浸・冷凍標本(表 1、3)

霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本や冷凍標本は約 1,190 点である(表 1)。霊長類以外の標本も約 230 点ある(表 3)。筋系標本の割合が高いが、脳や臓器の標本も含む。このように大規模な液浸・冷凍標本コレクションは世界的に見ても稀有である。標本は、本棟地階及び栗栖地区の液浸資料室に分散して保管されている。標本については、骨格標本と同様に、PRISK および PRISK-Z で検索することができる。

### (3) 分子生物学用試料(表 4)

霊長類の分子生物学用試料は、約 340 個体分 3400 点あまりを保管している。それらは、大型類人猿ネットワーク(GAIN)の情報を通じて動物園等から譲渡を受けた類人猿の臓器試料や、所内飼育の旧世界ザルや新世界ザルなどの臓器試料で、RNAlater 処理等をして冷凍保管されている。試料の保管状況や各種情報は、試料データベース PRIGEN で検索することができる。また、保管試料の一部は、九州大学有体物管理センター(<http://mmcu.jp>)のデータベースでも公開している。

### (4) CT 画像

霊長類の CT 画像データが 77 種(\*)1300 点あまり、霊長類以外のものが 55 種(\*)130 点あまりある。所蔵標本の CT 画像データ化を進めるとともに、動物園等の協力を得て、所外資料の CT 画像データも収集している。それら画像データは、Web 上のデータベース Digital Morphology Museum (DMM, <http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/dmm/archive>)に登録されており、インターネットを介して利用することができる。(\*2016 年度年報に誤植がありました。それぞれ、87 種、58 種と記載していましたが、正しくは 77 種、55 種です。)

### (5) 化石模型

化石模型は、人類および中新世ホミノイドを中心に約 500 点を所蔵している。模型は、新棟 4 階骨格資料室および展示室で保管、展示されている。化石模型の各種情報は、データベース PRICAST で検索することができる。

### (6) 利用方法とお願い

骨格・液浸標本の利用手続きは、非破壊的な使用の場合は簡便である。破壊・破損をとまなう利用も、資料委員会の審査を経た上で可能な場合もある。必要に応じて貸し出しや資料譲渡を行っている。さらに、化石模型も含めて、博物館等の展示などへの貸し出しも行っている。分子生物学用試料は、譲渡契約等の関係から、原則として共同利用・共同研究採択課題に限って譲渡提供している。資試料の利用希望者は、まずは、資料委員会もしくは、関係する所員に問い合わせてください。資試料には動物園など学外機関から譲渡された貴重なものも含まれるので、利用規約や契約等の遵守と提供機関に対する利用報告等への協力をお願いします。

資料委員会では資試料の一層の充実を図るため、野外調査などを行う方々に資試料採集への協力をお願いし

ています。また、諸事情から管理困難となった標本の取り扱いや、他機関所蔵の資料との交換についての相談も受けます。これらに関する連絡は、資料委員会までお願いします。

(連絡先：資料委員会 pri-shiryo [at] mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

## 2017 年度(平成 29 年度)所蔵資試料

表 1 霊長類骨格および液浸・冷凍標本

和名	学名	骨格	液冷
ホミノイド	<b>Hominoidea</b>	<b>121</b>	<b>120</b>
テナガザル科	Hylobatidae spp.	65	53
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	44	56
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	8	4
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	4	7
旧世界ザル	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>7923</b>	<b>664</b>
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	6180	507
コノハザル属	<i>Presbytis</i> spp.	168	1
ハヌマンラングール属	<i>Semnopithecus</i> spp.	4	4
ラングール属	<i>Trachypithecus</i> spp.	15	22
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	366	11
メンタワイシシバナザル属	<i>Simias concolor</i>	132	0
テングザル属	<i>Nasalis larvatus</i>	0	1
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	577	71
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	20	5
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	16	5
ゲラダヒヒ属	<i>Theropithecus gelada</i>	4	4
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	419	29
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	20	3
コロブス亜科属不明	Colobinae indet.	0	1
旧世界ザル属不明	Cercopithecoidea indet.	2	0
新世界ザル	<b>Ceboidea</b>	<b>1682</b>	<b>288</b>
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	1031	71
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	64	23
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	52	3
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	60	4
クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	16	12
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3	0
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	19	2
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	101	34
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	24	2
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1	0
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1	0
ピグミーマーマセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	9	10
マーマセット属	<i>Callithrix</i> spp.	169	64
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	120	62
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6	0
マーマセット科属不明	Callitrichidae indet.	0	1
新世界ザル属不明	Ceboidea indet.	6	0
メガネザル科	<b>Tarsiidae spp.</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
曲鼻猿類	<b>Strepsirrhini</b>	<b>61</b>	<b>113</b>
キツネザル属	<i>Lemur</i> spp.	18	14
エリマキキツネザル属	<i>Varecia</i> spp.	4	4
ネズミキツネザル属	<i>Microcebus</i> spp.	0	1
イタチキツネザル属	<i>Lepilemur mustelinus</i>	1	0
シファカ属	<i>Propithecus verreauxi</i>	2	0
スローロリス属	<i>Nycticebus</i> spp.	16	24
ポッター属	<i>Perodicticus</i> spp.	1	1
ホソロリス属	<i>Loris</i> spp.	1	4

ガラゴ属	<i>Galago</i> spp.	18	46
ガラゴ科不明	Galagidae indet.	0	1
キツネザル上科属不明	Lemuroidea indet.	0	6
曲鼻猿類属不明	Strepsirrhini indet.	0	3
種不明	<b>Unidentifiable</b>	<b>0</b>	<b>9</b>
総計	<b>Total</b>	<b>9788</b>	<b>1186</b>

表 2 霊長類以外の骨格標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	<b>Carnivora</b>	<b>1073</b>
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(560) <i>Canis</i> , <i>Nyctereutes</i> , <i>Vulpes</i> ; イタチ科(238) <i>Lutra</i> , <i>Martes</i> , <i>Meles</i> , <i>Mustela</i> , <i>Pteronura</i> ; アシカ科(31) <i>Callorhinus</i> , <i>Eumetopias</i> , <i>Zalophus</i> ; アザラシ科(5) <i>Phoca</i> ; 鯨脚類(2) <i>Pinnipedia</i> indet.; アライグマ科(8) <i>Procyon</i> ; クマ科(143) <i>Helarctos</i> , <i>Melursus</i> , <i>Selenarctos</i> , <i>Ursus</i> ; ネコ科(53) <i>Caracal</i> , <i>Felis</i> , <i>Leptailurus</i> , <i>Neofelis</i> , <i>Panthera</i> , <i>Prionailurus</i> , <i>Profelis</i> , <i>Puma</i> ; マングース科(5) <i>Crossarchus</i> , <i>Mungos</i> , <i>Suricata</i> ; ジャコウネコ科(27) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> , <i>Viverra</i>		
奇蹄目	<b>Perissodactyla</b>	<b>12</b>
ウマ科(10) <i>Equus</i> ; バク科(2) <i>Tapirus</i>		
鯨偶蹄目	<b>Cetartiodactyla</b>	<b>469</b>
イノシシ科(352) <i>Sus</i> ; ペッカリ科(3) <i>Tayassu</i> ; ウシ科(53) <i>Ammodramus</i> , <i>Antelope</i> , <i>Bos</i> , <i>Buvalus</i> , <i>Capra</i> , <i>Capricornis</i> , <i>Cephalophus</i> , <i>Ovis</i> ; キリン科(1) <i>Giraffa</i> ; シカ科(47) <i>Cervus</i> , <i>Hydropotes</i> , <i>Muntiacus</i> ; マイルカ科(10) <i>Tursiops</i> , <i>Delphinidae</i> indet.; 科不明/Family indet. (3)		
ツバイ目	<b>Scandentia</b>	<b>51</b>
ツバイ科(51) <i>Tupaia</i> , <i>Lyncogale</i>		
トガリネズミ目	<b>Soricomorpha</b>	<b>50</b>
トガリネズミ科(39) <i>Crocodyra</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(12) <i>Euscaptor</i> , <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
翼手目	<b>Chiroptera</b>	<b>9</b>
オオコウモリ科(5) <i>Pteropus</i> , <i>Rousettus</i> ; キクガシラコウモリ科(1) <i>Rhinolophus</i> ; ヒナコウモリ科(1) <i>Pipistrellus</i> ; 科不明 / Microchiroptera Family indet. (2)		
皮翼目	<b>Dermoptera</b>	<b>2</b>
ヒョケザル科(2) <i>Cynocephalus</i>		
齧歯目	<b>Rodentia</b>	<b>165</b>
ヤマネ科(1) <i>Glirulus</i> ; リス科(65) <i>Callosciurus</i> , <i>Cynomys</i> , <i>Eutamias</i> , <i>Petaurista</i> , <i>Peteromys</i> , <i>Sciurus</i> , <i>Spermophilus</i> ; トビネズミ科(1) <i>Allactaga</i> ; ネズミ科(73) <i>Apodemus</i> , <i>Cricetomys</i> , <i>Diplothrix</i> , <i>Microtus</i> , <i>Mus</i> , <i>Myodes</i> , <i>Rattus</i> ; パカ科(3) <i>Agouti</i> ; テンジクネズミ科(9) <i>Cavia</i> , <i>Dolichotis</i> ; オマキヤマアラシ科(1) <i>Coendou</i> ; カビバラ科(1) <i>Hydrochoerus</i> ; ヤマアラシ科(2) <i>Atherurus</i> , <i>Hystrix</i> ; ヌーリア科(6) <i>Myocastor</i> ; 科不明/Hystriacognathi Family indet. (3)		
ウサギ目	<b>Lagomorpha</b>	<b>33</b>
ウサギ科(30) <i>Lepus</i> , <i>Oryctolagus</i> , genus indet.; ナキウサギ科(3) <i>Ochotona</i>		
異節目	<b>Xenarthra</b>	<b>4</b>
フタコビナマケモノ科(2) <i>Choloepus</i> ; オオアリクイ科(1) <i>Tamandua</i> ; アルマジロ科(1) genus indet.		
アフリカトガリネズミ目	<b>Afrosoricida</b>	<b>1</b>
テンレック科(1) <i>Echinops</i>		
岩狸目	<b>Hyracoidea</b>	<b>1</b>
イワダヌキ科(1) <i>Procavia</i>		

長鼻目	Proboscidea	2
ゾウ科(2) <i>Elephas, Loxodonta</i>		
有袋目	Marsupialia	16
オポッサム科(3) <i>Didelphis</i> ; カンガルー科(7) <i>Macropus</i> , genus indet.; フクロモモンガ科(1) <i>Petaurista</i> ; クスクス科(4) <i>Phalanger, Trichosurus</i> ; ウオンバット科(1) <i>Vombatus</i>		
哺乳類・計	Mammalia total	1889
鳥類	Aves	79
Anseriformes [カモ類] (6) <i>Aix, Anas, Anser, Tadoma</i> ; Ciconiiformes [コウノトリ類] (9) <i>Nycticorax, Ciconia, Phoenicopteridae</i> indet.; Columbiformes [ハト類] (6) <i>Columba, Teron</i> ; Falconiformes [タカ類] (4) <i>Butastur, Milvus, Falco</i> ; Galliformes [キジ類] (31) <i>Bumbusicola, Gallus, Lophophorus, Lophura, Pavo, Phasianus, Polyplectron, Streptopelia</i> ; Gruiformes [ツル類] (1) <i>Gallinula</i> ; Passeriformes [スズメ類] (16) <i>Corvus, Carduelis, Coccythraustes, Passer, Turdus, Turdidae</i> genus indet., <i>Strunus, Zoothera</i> ; Percaniformes [ペリカン類] (2) <i>Ardea, Phalacrocorax</i> ; Phoenicopteriformes [フラミンゴ類] (2) <i>Phoenicopterus</i> ; Piciformes (1) [キツツキ類] <i>Dendrocopos</i> ; Psittaciformes [オウム類] (1) <i>Cacatua</i>		
爬虫類	Reptilia	42
有鱗目	Squamata	33
Boidae [ボア類] (3) <i>Eunectes</i> ; Chamaleonidae [カメレオン類] (5) <i>Chamaleo</i> ; Colubridae [ナミヘビ類] (5) <i>Elaphe</i> ; Gekkonidae [ヤモリ類] (4) <i>Gekko</i> ; Helodermatidae [ドクトカゲ類] (1) <i>Heloderma</i> ; Iguanidae [イグアナ類] (2) <i>Anolis</i> ; Pythonidae [ニシキヘビ類] (3) <i>Morelia, Python</i> ; Scincidae [トカゲ類] (2) <i>Corucia</i> ; Varanidae [オオトカゲ類] (1) <i>Varanus</i> ; Viperidae [クサリヘビ類] (3) <i>Gloydius, Xenosauridae</i> [コブトカゲ類] (3) <i>Shinisaurus</i> ; Squamata Family indet. [有鱗目科不明] (1) Family indet.		
カメ目	Testudines	7
Cheloniidae [ウミガメ類] (3) <i>Caretta, Chelonia</i> ; Geomyidae [イシガメ科] (1) <i>Cuora</i> ; Pelomedusidae [ヨコクビガメ類] (1) <i>Podocnemis</i> ; Testudinidae [リクガメ類] (1) <i>Pyxis</i> ; Trionychidae [スッポン類] (1) <i>Lissemys</i>		
ワニ目	Crocodylia	2
Alligatoridae [アリゲーター類] (2) <i>Alligator</i> , genus indet		
両生類	Amphibia	12
有尾目	Caudata	2
Ambystomatidae [トラフサンショウウオ科] (1) <i>Ambystoma</i> ; Salamandroidae [イモリ類] (1) <i>Tylotriton</i>		
無尾目	Anura	10
Bufonidae [ヒキガエル類] (2) <i>Bufo, Rhinella</i> ; Dendrobatidae [ヤドクガエル類] (1) <i>Phylllobates</i> ; Hylidae [アマガエル類] (2) <i>Phyllomedusa</i> ; Megophryidae [コノハガエル類] (3) <i>Megophrys</i> ; Ranidae [アカガエル類] (1) <i>Rana</i> ; Rhacophoridae [アオガエル類] (1) <i>Theloderma</i>		
魚類	Pisces	2
Perciformes [スズキ類] (2) <i>Lateolabrax, Pagrus</i>		
総計	Total	2024

表 3 霊長類以外の液浸標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
食肉目	Carnivora	69
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(4) <i>Canis, Urocyon</i> ; イタチ科(34) <i>Aonyx, Martes, Mustela</i> ; アシカ科(1) <i>Otariidae</i> indet.; クマ科(10) <i>Selenarctos</i> ; ネコ科(3) <i>Felis</i> ; ジャコウネコ科(4) <i>Artictis, Paguma</i> ; 科不明/Family indet. (12)		
偶蹄目	Artiodactyla	2
ウシ科(2) <i>Capricornis</i>		

ツパイ目	Scandentia	21
ツパイ科(21) <i>Tupaia</i>		
トガリネズミ目	Soricomorpha	11
トガリネズミ科(8) <i>Sorex, Suncus</i> ; モグラ科(3) <i>Mogera, Urotrichus</i>		
翼手目	Chiroptera	4
オオコウモリ科(4) <i>Rousettus</i>		
齧歯目	Rodentia	113
リス科(2) <i>Cynomys</i> , <i>Sciuridae</i> indet.; ネズミ科(110) <i>Clethrionomys, Rattus</i> ; ヌートリア科(1) <i>Myocastor</i>		
ウサギ目	Lagomorpha	1
ウサギ科(1) <i>Leporidae</i> indet.		
アフリカトガリネズミ目	Afrosoricida	1
テンレック科(1) <i>Tenrecidae</i> indet.		
有袋目	Marsupialia	10
カンガルー科(2) <i>Thylogale</i> , <i>Macropodidae</i> indet.; フクロネコ科(1) <i>Sarcophilus</i> ; フクロモモンガ科(3) <i>Petaurus</i> ; クスクス科(3) <i>Trichosurus</i> ; リングテイル科 (1) <i>Pseudocheirus</i>		
哺乳類・計	Mammalia total	232
鳥類	Aves (1)	Galliformes - <i>Gallus</i> [ニワトリ]
爬虫類	Reptilia (1)	Squamata indet. [トカゲ]
総計	Total	234

表 4 霊長類分子生物学用試料

和名	学名	個体数
ホミノイド	Hominoidea	173
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	119
ボノボ	<i>Pan paniscus</i>	1
ゴリラ	<i>Gorilla gorilla</i>	8
オランウータン属	<i>Pongo sp.</i>	9
テナガザル属	<i>Hylobates sp.</i>	21
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	15
旧世界ザル	Cercopithecoidea	98
マカク属	<i>Macaca spp.</i>	93
サバンナモンキー属	<i>Cercopithecus sp.</i>	4
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	1
新世界ザル	Ceboidea	70
マーモセット属	<i>Callithrix sp.</i>	47
タマリン属	<i>Saguinus oedipus</i>	4
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	2
フサオマキザル	<i>Cebus caputinus</i>	1
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	16

## 6. 人事異動

所属分野等	職名	異動		内容	備考
		氏名	年月日		
	副所長	高田 昌彦	H29.4.1	併任	任期は H30.3.31 まで
思考言語分野	准教授	足立 幾磨	H29.4.1	昇進	国際共同先端研究センター・助教より
国際共同先端研究センター	准教授	MACINTOSH, Andrew	H29.4.1	採用	野生動物研究センター・特定准教授より
国際共同先端研究センター	助教	服部 裕子	H30.1.1	採用	野生動物研究センター・特定助教より
国際共同先端研究センター	センター長	湯本 貴和	H29.4.1	併任	任期は H31.3.31 まで
人類進化モデル研究センター	センター長	大石 高生	H29.11.16	併任	任期は H31.11.15 まで
ゲノム進化分野	教授	平井 啓久	H30.3.31	定年退職	
人類進化モデル研究センター	准教授	川本 芳	H30.3.31	定年退職	

## 7. 海外渡航

### (1) 教職員

所属	氏名	期間	目的国	目的
細胞生理	古賀章彦	2017/4/14～4/23	タイ	共同研究実験・解析・研究連絡
進化形態	伊藤毅	2017/4/18～4/24	アメリカ	American Association of Physical Anthropologists-86th annual meeting 参加・発表・情報収集、研究連絡
認知学習	後藤幸織	2017/4/26～5/1	インドネシア	第5回アジア精神医学薬理学会参加・情報収集
認知学習	正高信男	2017/5/10～5/15	アメリカ	国際自閉症学会 2017 参加・情報収集
進化形態	濱田穰	2017/5/12～5/24	タイ・ブータン	研究連絡、野外調査
白眉センター	雨森賢一	2017/5/20～6/15	アメリカ	共同研究
系統発生	高井正成	2017/6/2～6/18	ミャンマー・タイ	化石標本整理・観察
生態保全	湯本貴和	2017/6/2～6/7	マレーシア	研修引率、資料収集
国際センター	A MacIntosh	2017/6/6～6/15	ドイツ・英国	研究連絡、Evolution of pathogen and parasite avoidance behaviours 参加・発表・情報収集
社会進化	MA Huffman	2017/6/8～6/27	イタリア	第27回イタリア行動学会参加・発表、研究連絡
進化形態	濱田穰	2017/6/12～6/16	タイ	研究連絡、野外調査
進化形態	濱田穰	2017/6/21～7/10	タイ・ミャンマー	研究連絡、野外調査
統合脳システム	井上謙一	2017/6/24～6/30	中国	CSH Asia2017 Conference Primate Neuroscience 参加・発表・情報収集、研究連絡
統合脳システム	高田昌彦	2017/6/24～6/30	中国	CSH Asia2017 Conference Primate Neuroscience 参加・情報収集、研究連絡
細胞生理	岡本宗裕	2017/7/2～7/10	ラオス	疫学調査、情報交換
人類センター	宮部貴子	2017/7/2～7/15	オランダ・英国	研究連絡
社会進化	辻大和	2017/7/7～7/18	オーストラリア	国際霊長類学会参加・発表・資料収集
国際センター	A MacIntosh	2017/7/9～7/12	中国	China Primatology and Anthropology Young Scholars Forum 2017 参加・発表

社会進化	古市剛史	2017/7/12～8/12	コンゴ民主共和国	PWS 履修生への研究指導、研究連絡
生態保全	橋本千絵	2017/7/16～8/29	コンゴ民主共和国	African Primatological Consortium 第2回総会出席・資料収集、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2017/7/21～7/26	韓国	国際シンポジウム参加・発表・資料収集
系統発生	高井正成	2017/7/22～7/31	タイ・ミャンマー	化石発掘調査、化石標本観察
認知学習	後藤幸織	2017/7/30～8/2	シンガポール	講演、研究連絡
社会進化	古市剛史	2017/8/18～9/24	コンゴ民主共和国・ウガンダ	African Primatological Consortium 第2回総会出席・資料収集、研究連絡、共同研究
社会進化	辻大和	2017/8/20～9/7	インドネシア	研究連絡、生態調査、データ解析
思考言語	林美里	2017/8/20～8/28	コンゴ民主共和国	African Primatological Consortium 第2回総会出席・資料収集、研究連絡
生態保全	湯本貴和	2017/8/20～8/23	中国	国際生態学会連合大会参加・資料収集
系統発生	江木直子	2017/8/22～8/28	カナダ	SVP 77th Annual Meeting 参加・発表・情報収集
白眉センター	雨森賢一	2017/8/23～9/2	アメリカ	共同研究
社会進化	MA Huffman	2017/9/1～9/12	スイス・オーストリア	薬用植物と天然物化学研究会国際学術大会参加・発表、施設見学、資料収集
統合脳システム	井上謙一	2017/9/10～9/14	アメリカ	ワークショップ参加・情報収集、研究連絡
思考言語	友永雅己	2017/9/10～9/13	韓国	研究連絡
系統発生	西村剛	2017/9/12～9/16	オーストリア	研究プロジェクト推進実験、研究連絡
生態保全	湯本貴和	2017/9/13～9/22	タンザニア	PWS 履修生への研究指導、野外調査
技術部	兼子明久	2017/9/13～9/22	タンザニア	行動観察、資料収集
系統発生	高井正成	2017/9/13～9/27	中国	サル化石調査、化石標本観察
細胞生理	岡本宗裕	2017/9/17～9/24	インドネシア	研究連絡、野外調査
進化形態	伊藤毅	2017/9/17～9/30	アメリカ	共同実験、研究連絡
進化形態	濱田穰	2017/9/19～10/3	中国	研究連絡、生態調査、資料収集
社会進化	MA Huffman	2017/9/24～10/8	メキシコ・アメリカ	国際フォーラム参加、研究連絡、資料収集
ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)	早川卓志	2017/10/5～10/15	オーストラリア	研究調査
社会進化	辻大和	2017/10/8～10/22	インドネシア	研究連絡、生態調査、資料収集、ワークショップ参加
生態保全	湯本貴和	2017/10/15～10/22	インドネシア	The 6th International Workshop on Tropical Biodiversity and Conservation 参加・発表、情報収集
認知学習	正高信男	2017/10/16～10/21	フランス	研究連絡
国際センター	A MacIntosh	2017/11/5～11/8	マレーシア	試料採取、データ収集
高次脳機能	中村克樹	2017/11/9～11/16	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・情報収集、NEI 50th Anniversary Symposium 参加
統合脳システム	高田昌彦	2017/11/10～11/17	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・情報収集
統合脳システム	井上謙一	2017/11/10～11/17	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・発表・情報収集
細胞生理	岡本宗裕	2017/11/13～11/21	ラオス	疫学調査、情報交換
進化形態	濱田穰	2017/11/13～12/10	タイ	野外調査、資料収集、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2017/11/14～12/1	イタリア・英国	講演、研究連絡、資料収集
生態保全	湯本貴和	2017/11/15～11/25	マレーシア	生態調査、研究連絡
系統発生	高井正成	2017/11/19～12/9	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本調査・観察
系統発生	江木直子	2017/11/19～12/9	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本調査・観察
認知学習	後藤幸織	2017/11/22～11/24	韓国	研究連絡、講演

認知学習	後藤幸織	2017/12/2～12/9	アメリカ	American College of Neuropsychopharmacology Meeting 参加、情報収集
進化形態	濱田穰	2017/12/14～12/28	タイ	研究連絡、情報収集
社会進化	MA Huffman	2017/12/24～12/31	台湾	セミナー参加、研究連絡、調査地見学
進化形態	濱田穰	2018/1/2～2/9	タイ	研究連絡、情報収集
系統発生	HC Thomas	2018/1/25～1/27	韓国	研究連絡
白眉センター	雨森賢一	2018/1/27～2/11	アメリカ	共同研究
国際センター	A MacIntosh	2018/2/4～2/11	マレーシア	資料採取、データ収集
社会進化	辻大和	2018/2/11～2/16	インド	研究連絡
進化形態	濱田穰	2018/2/12～3/11	タイ・ネパール	研究連絡、情報収集、Satellite International Symposium on Asian Primates 参加・発表
人類センター	川本芳	2018/2/15～2/24	ネパール・ブータン	Satellite International Symposium on Asian Primates 参加・発表、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2018/2/18～3/9	スリランカ	調査準備、研究連絡、行動観察、共同実験、試料収集
生態保全	半谷吾郎	2018/2/20～2/24	タイ	野外調査、資料収集、研究連絡
社会進化	辻大和	2018/2/21～3/2	インドネシア	野外調査、資料収集、研究連絡
人類センター	田中洋之	2018/2/22～3/6	スリランカ	調査準備、研究連絡、行動観察、共同実験、試料収集
思考言語	足立幾磨	2018/2/26～3/2	アメリカ	研究連絡
認知学習	香田啓貴	2018/2/26～3/4	タイ	研究連絡、情報収集
系統発生	高井正成	2018/2/28～3/12	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本調査・観察
進化形態	濱田穰	2018/3/17～3/31	タイ	研究連絡・情報収集
系統発生	西村剛	2018/3/18～3/22	スイス	Kyoto-Swiss Symposium 2016 フォロワーアップワークショップ参加
生態保全	湯本貴和	2018/3/27～4/7	ブラジル	研究連絡

## (2) 大学院生

所属	氏名	期間	目的国	目的
社会進化	岡村弘樹	2017/2/1～7/24	コンゴ民主共和国	野外調査、研究連絡
社会進化	戸田和弥	2017/2/1～7/24	コンゴ民主共和国	PWS 自主 FW 実習
社会進化	豊田有	2017/4/3～6/29	タイ	野外調査、分析実験、試料収集
生態保全	C Sarabian	2017/4/21～4/30	インド	PWS 自主 FW 実習、研究連絡。野外調査
社会進化	H Nautiyal	2017/4/27～12/3	インド・インドネシア	PWS 自主 FW 実習、情報収集、野外調査
社会進化	JSA Pastrana	2017/5/14～5/26	コロンビア	13th International Conference on Environmental Enrichment 参加、情報収集
細胞生理	L Frias	2017/5/23～6/10	マレーシア	研究連絡、情報収集、共同実験
生態保全	C Sarabian	2017/6/10～7/2	英国・フランス	Evolution of pathogen and parasite avoidance behaviours 参加、情報収集、研究連絡
生態保全	峠明杜	2017/7/8～7/16	オーストラリア	The 12th International Mammalogical Congress 参加、情報収集
生態保全	本田剛章	2017/7/9～7/16	オーストラリア	The 12th International Mammalogical Congress 参加、発表、情報収集
社会進化	柴田翔平	2017/7/12～10/25	コンゴ民主共和国・ウガンダ	PWS 自主 FW 実習、情報収集、野外調査

細胞生理	L Frias	2017/7/19～8/7	メキシコ	66th WDA Annual International Conference 参加、情報収集、ワークショップ参加、研究連絡
思考言語	川口ゆり	2017/7/20～8/10	ドイツ・オーストリア・ポルトガル・英国	PWS 自主 FW 実習、情報収集、研究連絡、Behavior2017 参加・発表
社会進化	RSC Takeshita	2017/7/25～8/6	ポルトガル	BEHAVIOUR2017 参加・発表・資料収集、研究連絡
社会進化	JSA Pastrana	2017/7/25～8/12	ポルトガル・デンマーク	PWS 自主 FW 実習、情報収集、BEHAVIOUR2017 参加、the 51st Conference of the International Society for Applied Ethology 参加
生態保全	C Sarabian	2017/7/30～8/5	ポルトガル	BEHAVIOUR2017 参加・発表・資料収集、研究連絡
生態保全	武真祈子	2017/8/18～8/28	ブラジル	17th Brazilian Congress of Primatology 参加。情報収集、研究連絡
社会進化	RSC Takeshita	2017/8/18～8/26	フランス	EFP2017 参加・発表・資料収集、研究連絡
思考言語	R Costa	2017/8/19～10/25	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習、野外調査
思考言語	川口ゆり	2017/9/10～9/13	韓国	共同研究打ち合わせ
系統発生	浅見真生	2017/9/24～9/28	中国	化石標本調査
ゲノム進化	西栄美子	2017/10/15～10/22	インドネシア	The 6th International Workshop on Tropical Biodiversity and Conservation 参加・発表、情報収集
ゲノム進化	Y Xiaochan	2017/10/15～10/30	インドネシア	The 6th International Workshop on Tropical Biodiversity and Conservation 参加・発表、情報収集、PWS 自主 FW 実習
生態保全	武真祈子	2017/10/23～12/15	ブラジル	研究連絡
統合脳システム	田辺創思	2017/11/10～11/17	アメリカ	第 47 回北米神経科学大会参加・発表・情報収集
系統発生	浅見真生	2017/11/18～12/9	ミャンマー	化石発掘調査、化石標本調査・観察
思考言語	D Wilson	2017/11/26～12/13	英国	Primate Society of Great Britain 0th Anniversary Meeting 参加・発表、情報収集
社会進化	豊田有	2017/12/4～12/12	中国	野外調査、研究連絡
思考言語	R Costa	2017/12/6～2018/3/6	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習、野外調査
生態保全	C Sarabian	2018/2/9～7/7	コンゴ民主共和国	野外調査、データ収集、研究連絡
社会進化	豊田有	2018/2/15～3/4	ネパール・タイ	Satellite International Symposium on Asian Primates 参加・発表、研究連絡、資料収集
社会進化	H Nautiyal	2018/2/16～2/27	ネパール	Satellite International Symposium on Asian Primates 参加、野外調査、資料収集、研究連絡
生態保全	W Lee	2018/2/26～3/5	中国	現地調査、研究連絡
生態保全	中村泉	2018/2/26～3/5	中国	現地調査、研究連絡
生態保全	本田剛章	2018/2/26～3/5	中国	現地調査、研究連絡

### (3) 研究員

所属	氏名	期間	目的国	目的
長期野外	坂巻哲也	2017/1/28～7/29	コンゴ民主共和国	野外調査、研究連絡
長期野外	竹元博幸	2017/3/10～5/1	ウガンダ	野外調査、資料収集、研究連絡
思考言語	R Mendonca	2017/4/7～8/15	ポルトガル	野生馬の調査、資料収集、研究連絡

国際センター	C Watson	2017/4/25～5/14	英国	共同研究、情報収集
思考言語	綿貫宏史朗	2017/5/14～5/26	コロンビア	13th International Conference of Environmental Enrichment 参加・発表・情報収集、研究連絡、施設見学
生態保全	西川真理	2017/7/29～8/6	ポルトガル	BEHAVIOUR2017 参加・資料収集
長期野外	寺田佐恵子	2017/8/18～9/2	コンゴ民主共和国	African Primatological Consortium 第2回総会出席・資料収集、研究連絡
国際センター	C Watson	2017/8/18～8/28	フランス	EFP2017 参加・発表・資料収集、研究連絡
思考言語	綿貫宏史朗	2017/8/21～9/13	コンゴ民主共和国・フランス	野外調査、資料収集、研究連絡
センター	関洋平	2017/8/21～8/27	アメリカ	35th Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS 参加・情報収集
センター	鷺崎彩夏	2017/8/22～8/27	アメリカ	35th Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS 参加・発表・情報収集
長期野外	竹元博幸	2017/9/17～2018/3/15	ウガンダ	研究連絡、生態調査、資料収集
思考言語	R Mendonca	2017/9/10～2018/2/27	ポルトガル	野生馬の調査、資料収集、研究連絡
国際センター	C Watson	2017/9/29～10/15	英国	Schools'Day Scotland 参加・講演、研究連絡
ゲノム進化	橋戸南美	2017/10/15～10/22	インドネシア	The 6th International Workshop on Tropical Biodiversity and Conservation 参加・発表、情報収集
統合脳システム	菊田里美	2017/11/5～11/9	韓国	Optical Connectomics to Facilitate Neuronal Stimulation treatments of Parkinsons and Spinal Cord Injuries 参加・発表、研究連絡
高次脳機能	竹本篤史	2017/11/10～11/17	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・発表・情報収集
統合脳システム	上園志織	2017/11/11～11/17	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・発表・情報収集
統合脳システム	菊田里美	2017/11/11～11/17	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・情報収集
統合脳システム	山中創	2017/11/12～11/16	アメリカ	第47回北米神経科学大会参加・発表・情報収集
生態保全	西川真理	2017/11/29～12/11	カナダ	共同実験、研究連絡
生態保全	本郷峻	2017/12/10～2018/2/10	ガボン	生態調査、研究連絡
長期野外	坂巻哲也	2018/1/14～2/13	コンゴ民主共和国	野外調査、研究連絡、データ分析
思考言語	金森朝子	2018/2/5～2/11	マレーシア	研究連絡、情報収集
思考言語	綿貫宏史朗	2018/2/5～2/17	インドネシア・インド	野外調査、情報収集、研究連絡
統合脳システム	菊田里美	2018/2/7～2/19	アメリカ	分析技術習得
生態保全	西川真理	2018/2/26～3/5	中国	現地調査、研究連絡

#### (4) 学振特別研究員 (PD) ・外国人特別研究員

所属	氏名	期間	目的国	目的
国際センター	JAM Duboscq	2017/10/25～11/12	フランス	共同研究
生態保全	栗原洋介	2018/2/26～3/5	中国	現地調査、研究連絡
国際センター	V Romano	2018/3/25～3/31	フランス・英国	研究連絡



## 8. 非常勤講師

(霊) 澤 幸祐 (専修大学・教授)

「連合学習理論の基礎と応用」2018年1月25日～1月26日

(理) 藤原 慎一 (名古屋大学・助教)

「機能形態学(絶滅動物の古生態復元)」2018年1月16日～1月17日

(理) 久保 拓弥 (北海道大学・助教)

「データ解析のための統計モデリング入門」2017年11月13日～11月15日

## 9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名：採用期間)

入口 真夕子 : 2017.5.1～2018.3.31

武 真祈子 : 2017.5.1～2017.7.31

: 2018.3.1～2018.3.31

田辺 創思 : 2017.5.1～2018.3.31

本田 剛章 : 2017.7.1～2018.2.28

## 10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名：採用期間)

一般 TA

浅見 真生 : 2017.8.16～2018.12.31

糸井川 壮太 : 2017.8.16～2018.12.31

岡田 佐和子 : 2017.8.16～2018.12.31

西 栄美子 : 2017.8.16～2018.12.31

ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel

: 2017.8.16～2018.11.30

瀧山 拓哉 : 2017.9.1～2017.11.30

黒木 結花 : 2017.11.1～2017.11.30

岩沖 晴彦 : 2018.1.1～2018.1.31

樋原 慧 : 2018.1.1～2018.1.31

YAN, Xiaochan : 2018.1.1～2018.1.31

全学共通科目 TA

瀧山 拓哉 : 2017.7.1～2017.7.31

仲井 理沙子 : 2018.1.16～2018.2.28

国際センターTA

黒木 康太 : 2017.9.16～2017.9.30

## 11. 年間スケジュール

### 2017年

- 4月3日 新入生オリエンテーション
- 4月20日 新入所員歓迎会
- 6月18日 本学創立記念日
- 7月29-30日 犬山公開講座「知の探訪ーサルを知る、ヒトを知るー」
- 8月1-2日 大学院修士課程入学試験
- 10月11日 サル慰霊祭
- 10月19日 市民公開日
- 10月31日 運営委員会

### 2018年

- 1月19日 博士論文発表会
- 1月22日 修士論文発表会
- 2月15日 大学院博士後期課程編入学試験
- 2月20-21日 オープンキャンパス
- 3月26日 運営委員会